

グラフで見る東海経済 (2020年7月)

2020年7月28日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

今月の景気判断 ~新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況にあるが、一部に下げ止まりの動きもみられる

【今月のポイント】

- 新型コロナウイルス感染症の影響で、足下の指標は総じて厳しい水準にあるが、一部に下げ止まりの動きもみられる。
- 生産、輸出は輸送機械の落ち込みが大きく、同業種の比重が高い東海は全国より大きく落ち込んでいる。先行きは、自動車生産の回復とともに持ち直しが見込まれる。
- 個人消費では、巣ごもり消費でスーパー、ドラッグストア、家電が増加。一方、百貨店は大幅減が続くが、前月に比べマイナス幅は縮小。消費マインドは底入れの動き。
- 賃金は前年比で減少に転じた。
- 6月の倒産件数は、全国が増加となる一方、引き続き前年を下回った。

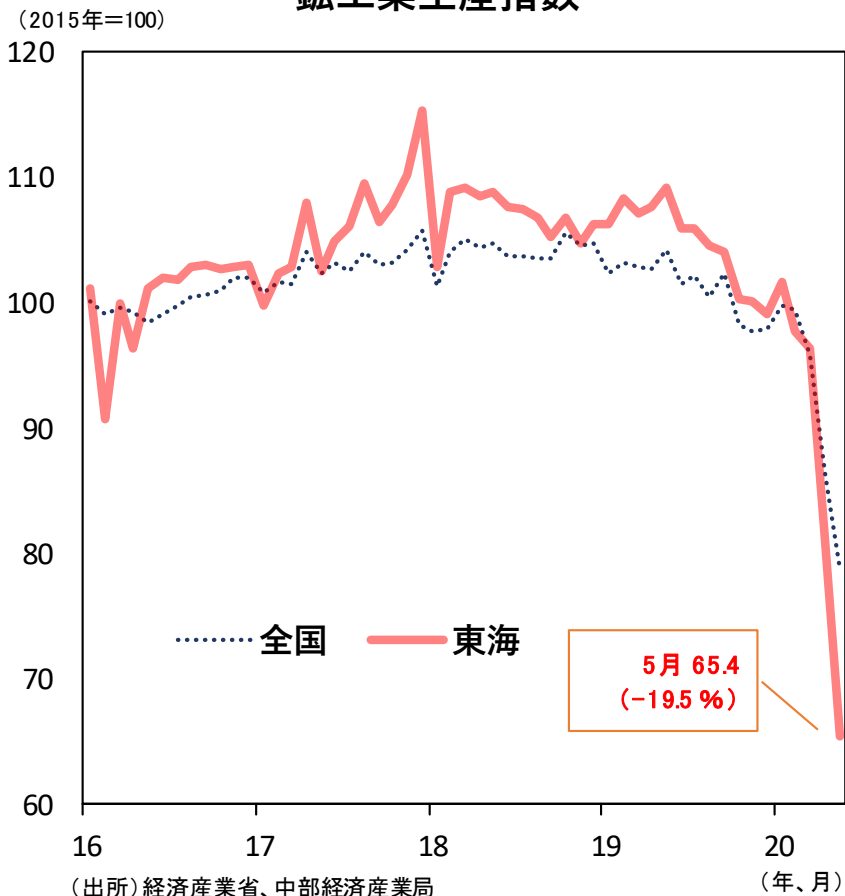
項目	現状
景気全般	新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況にあるが、一部に下げ止まりの動きもみられる(↑)
生産	減少している
輸出	減少している
設備投資	弱含んでいる
雇用	改善が一服している
賃金	弱含んでいる(↓)
個人消費	下げ止まりの動きがみられる(↑)
住宅投資	弱含んでいる
公共投資	横ばい圏で推移している(↓)

(注) 景気全般は、下げ止まりの動きが広がってきたことから小幅上方修正
賃金は前年比でマイナスに転じたことから下方修正
個人消費は、下げ止まりの動きの広がりにより上方修正
公共投資の移動平均値は前年比でゼロ近傍で推移。

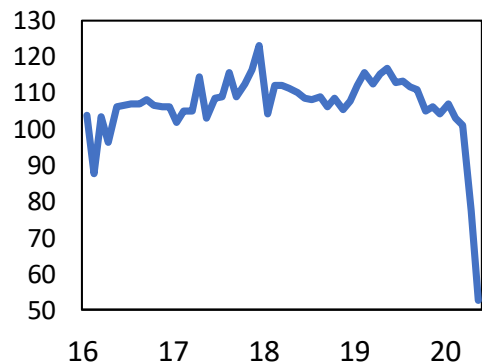
生産

5月の鉱工業生産(東海)は前月比-19.5% (前年比-42.6%)と大幅な減少が続く。特にウェイトの5割を占める輸送機械の減少が顕著。6月以降は自動車生産の復調もあって持ち直しとなる見込み。

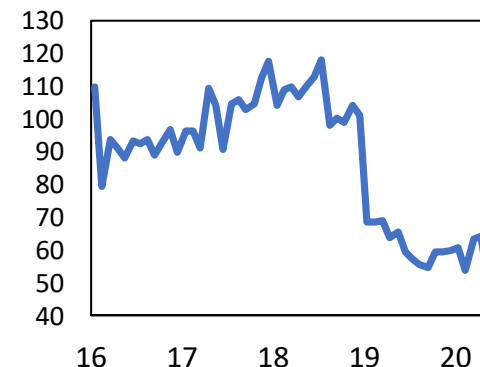
鉱工業生産指数



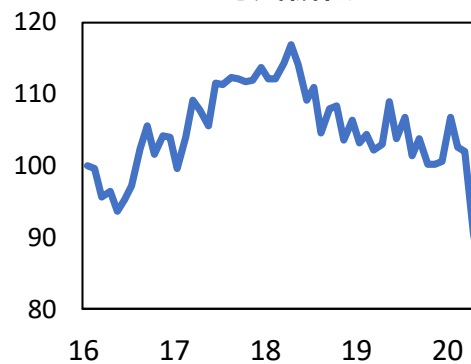
輸送機械



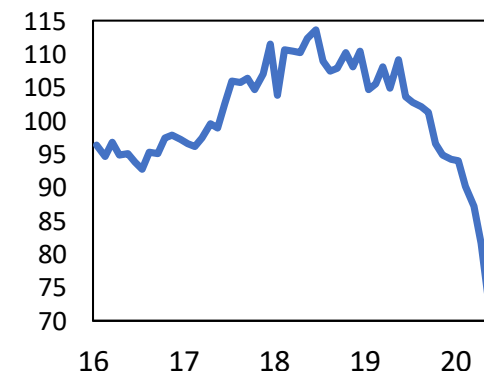
電子部品デバイス



電気機械



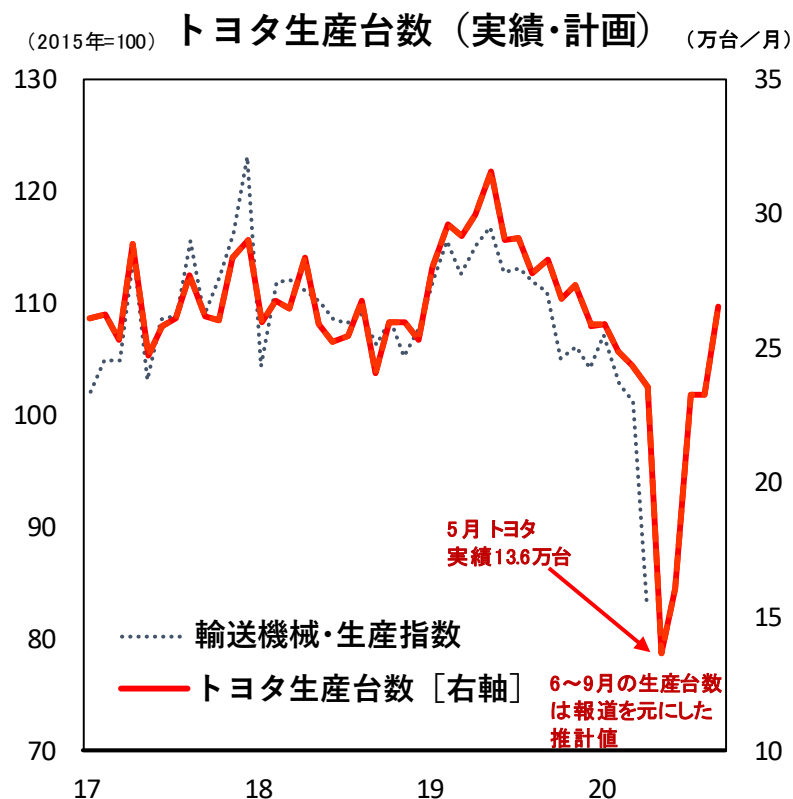
汎用・業務用・生産用機械



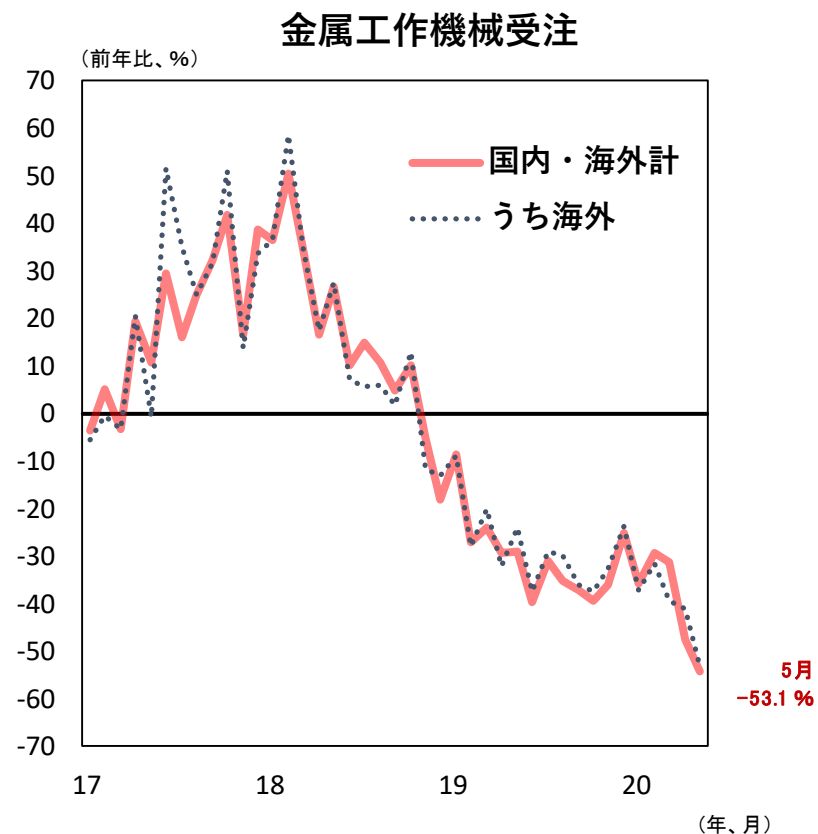
生産（金属工作機械、トヨタ生産計画）

5月のトヨタ生産台数（弊社試算季節調整値）は13.6万台と前月から大幅減。先行きは5月を底に回復の計画。

金属工作機械受注は内外ともに、前年比5割超の大幅減となっている。



(注)トヨタ生産台数の季節調整は当社、輸送機械・生産指数は東海3県 (年、月)
(出所) 中部経済新聞、中部産業局「鋳工業生産指数」

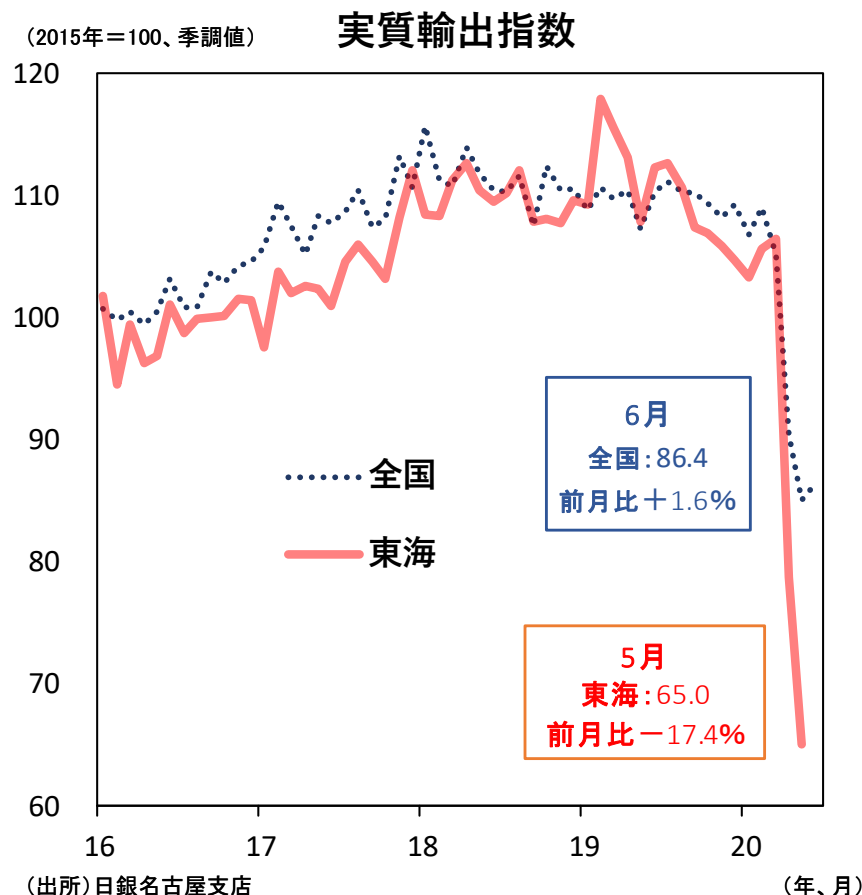
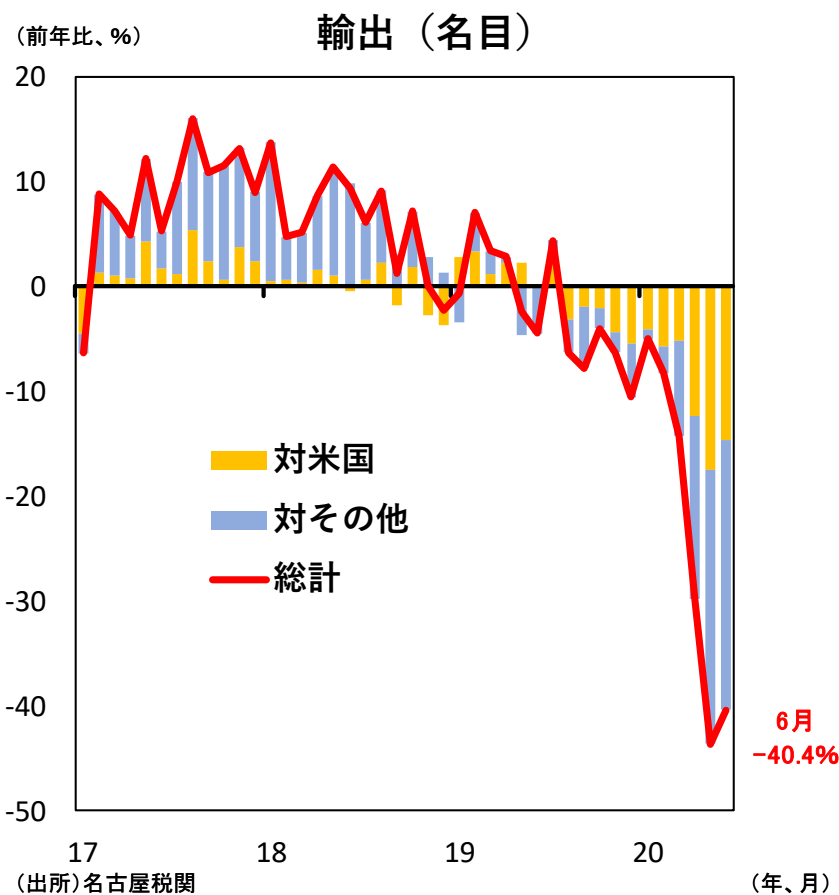


(出所) 中部経済産業局「金属工作機械受注」 (年、月)

輸出

6月の名目輸出額は前年比-40.4%と大幅減が続く。中国向けが2ヶ月連続で増加(同+2.1%)したが、ASEAN向けが大幅減(同-57.3%)となり、アジア全体では同-25.7%となった。米国向けは同-54.0%。業種別では、自動車と同-50.5%と大幅減が続いている。

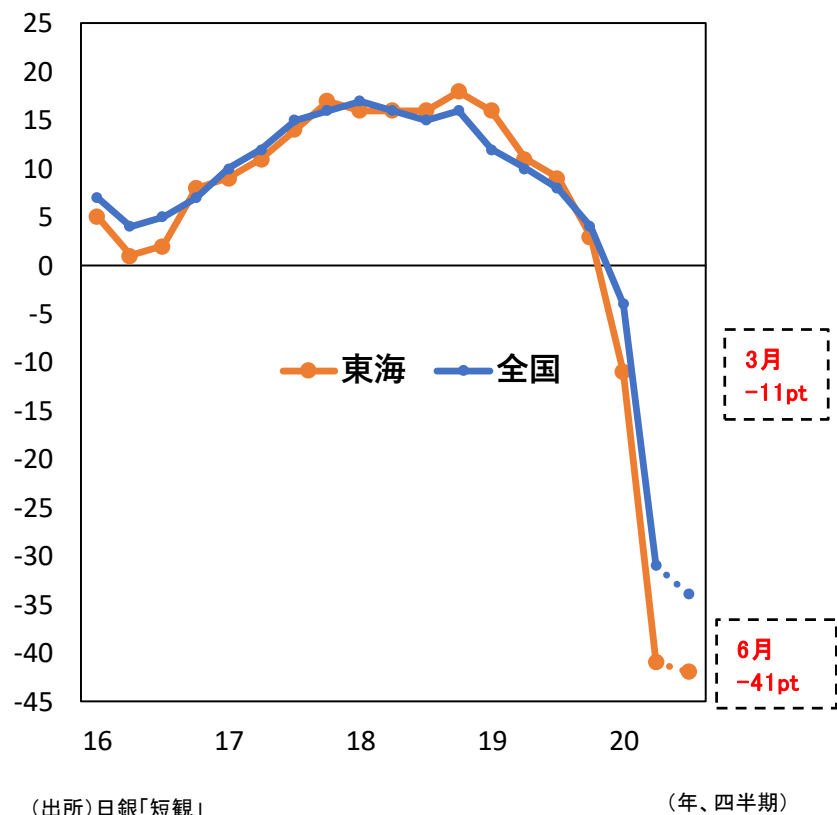
5月の実質輸出指数(季節調整値)は前月比-17.4%と、引き続き全国を上回るペースの大幅減。



企業景況感(日銀短観)

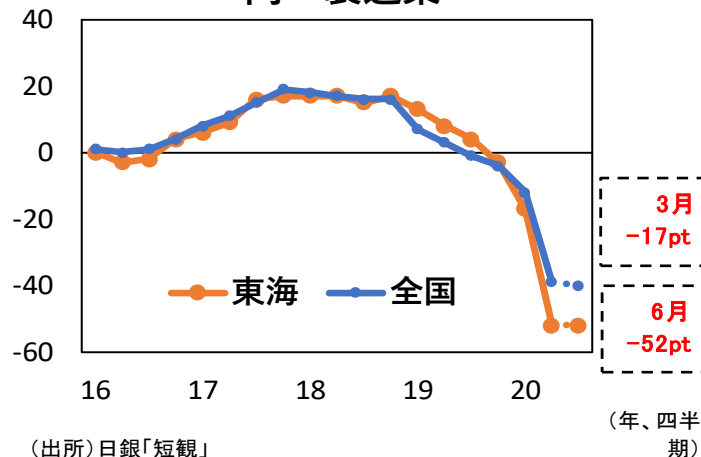
日銀短観6月の業況判断DIは全産業で-41ptと大幅に悪化。製造業は-52pt、非製造業は-29pt。先行き(9月)、製造業は横ばいにとどまるが、非製造業ではもう一段の悪化が見込まれている。

短観 業況判断DI「全産業」

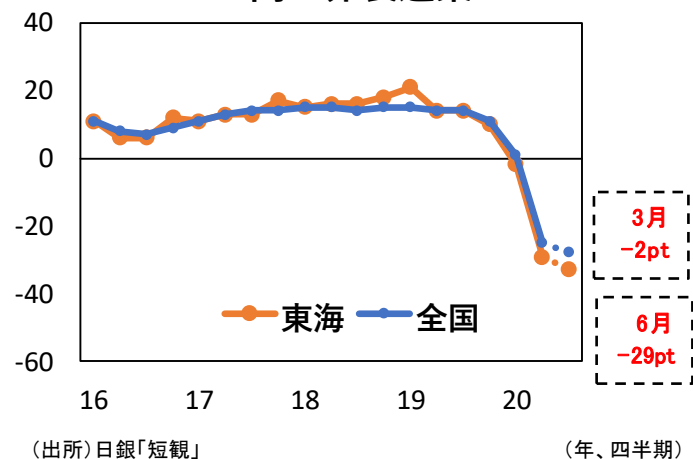


(注)足元の点線はいずれも先行きの見通し

同 製造業

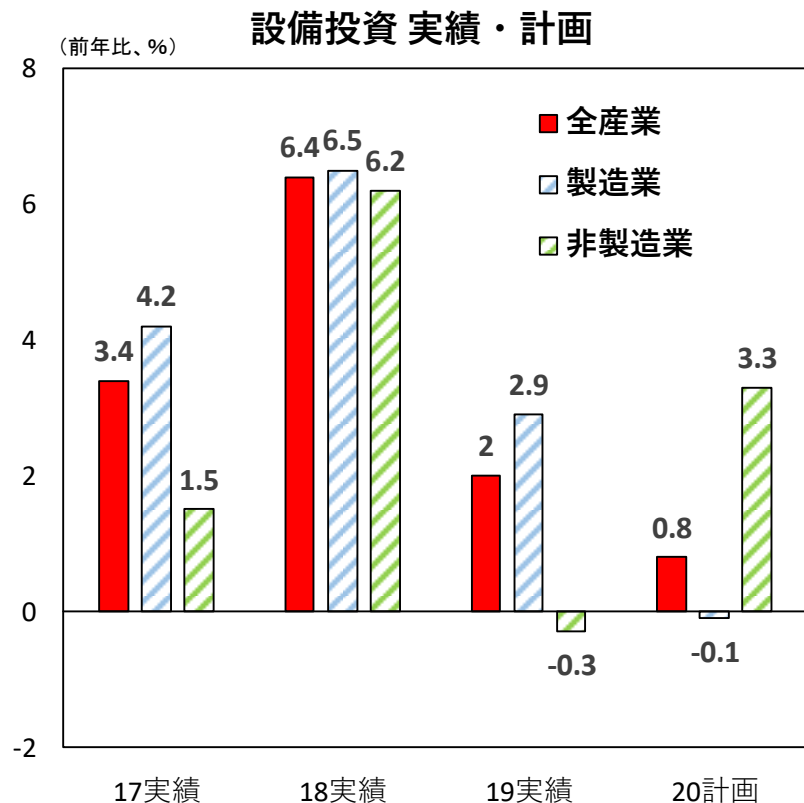


同 非製造業



設備投資

日銀短観6月調査によると、20年度の設備投資計画は、非製造業が前年比+3.3%と増加を見込む一方、製造業は同-0.1%と低調、全産業では同+0.8%と小幅増加にとどまる計画となっている。



(出所)日銀名古屋支店「短観」

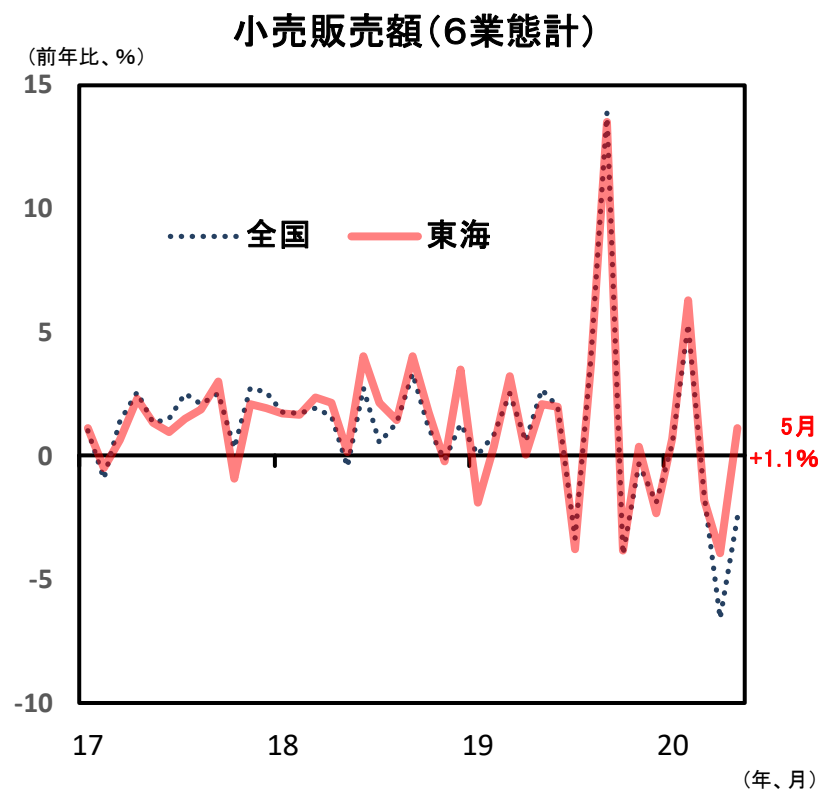
(年度)

設備投資額 (前年比%)

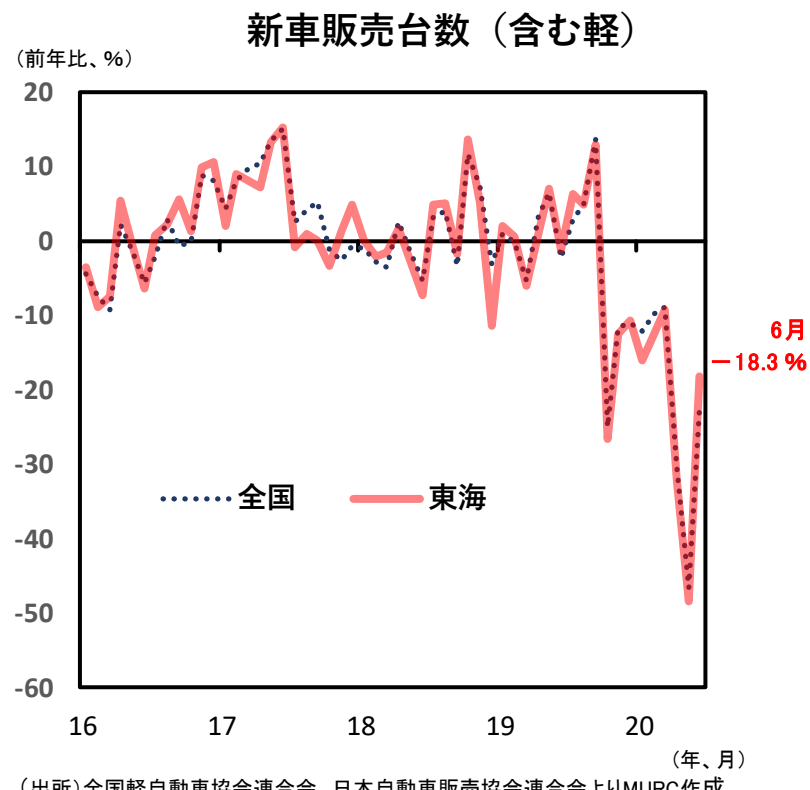
	19年度 実績	20年度 計画	
		今回	3月調査時 [差異]
全産業	2.0	0.8	-0.4 1.2
製造業	2.9	-0.1	-0.5 0.4
非製造業	-0.3	3.3	-0.4 3.7

個人消費(小売売上、自動車販売)

5月の小売販売額は前年比+1.1%と、全国が前年比マイナスを続ける中、3カ月ぶりに増加に転じた。緊急事態宣言下の巣ごもり消費でスーパー、ドラッグストア、家電、ホームセンターが増加した。新車販売は6月も引き続きマイナスながら、減少幅は前月より縮小。



(出所)商業販売動態統計
(注)百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計

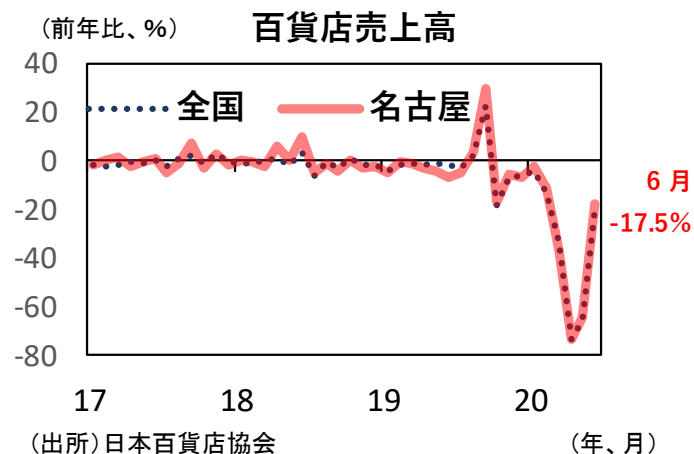
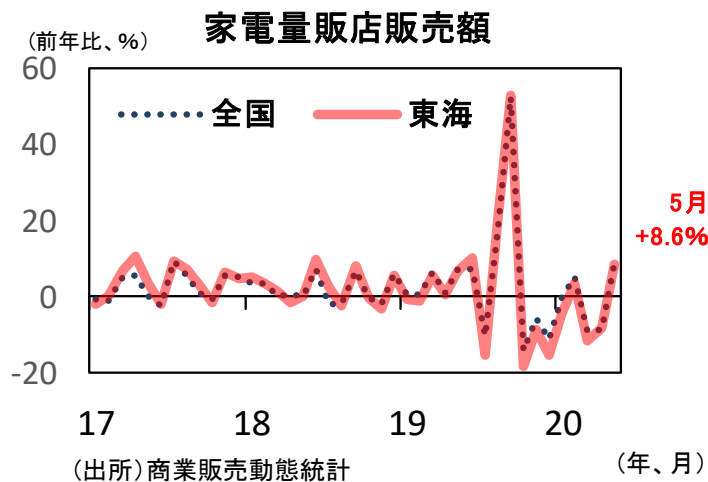
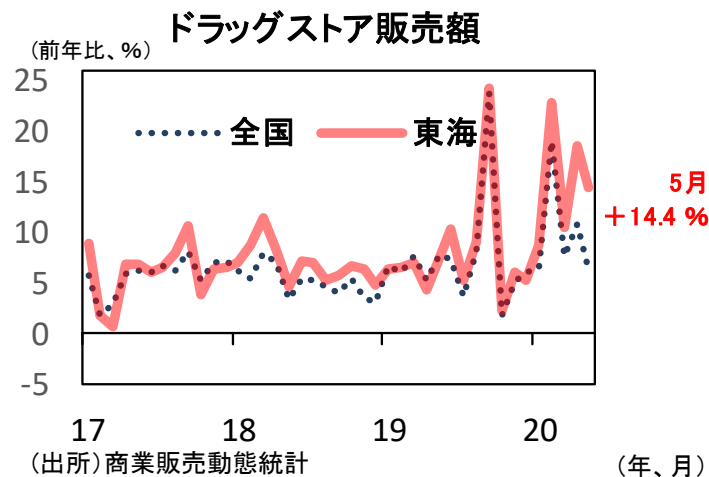
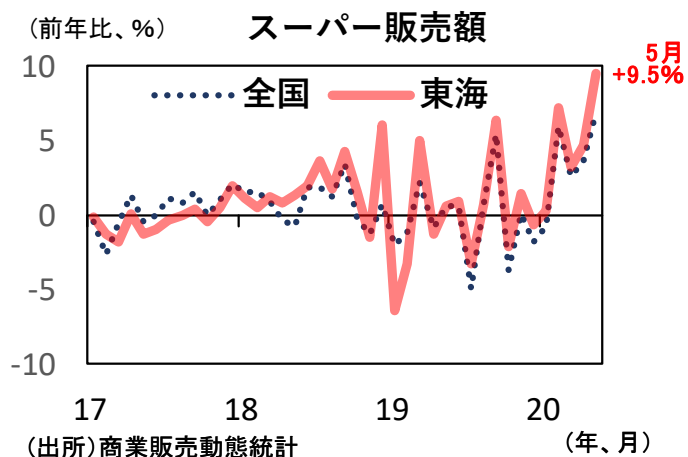


(出所)全国軽自動車協会連合会、日本自動車販売協会連合会よりMURC作成

個人消費(業態別)

5月はスーパー、ドラッグストア、家電販売が前年比で増加。

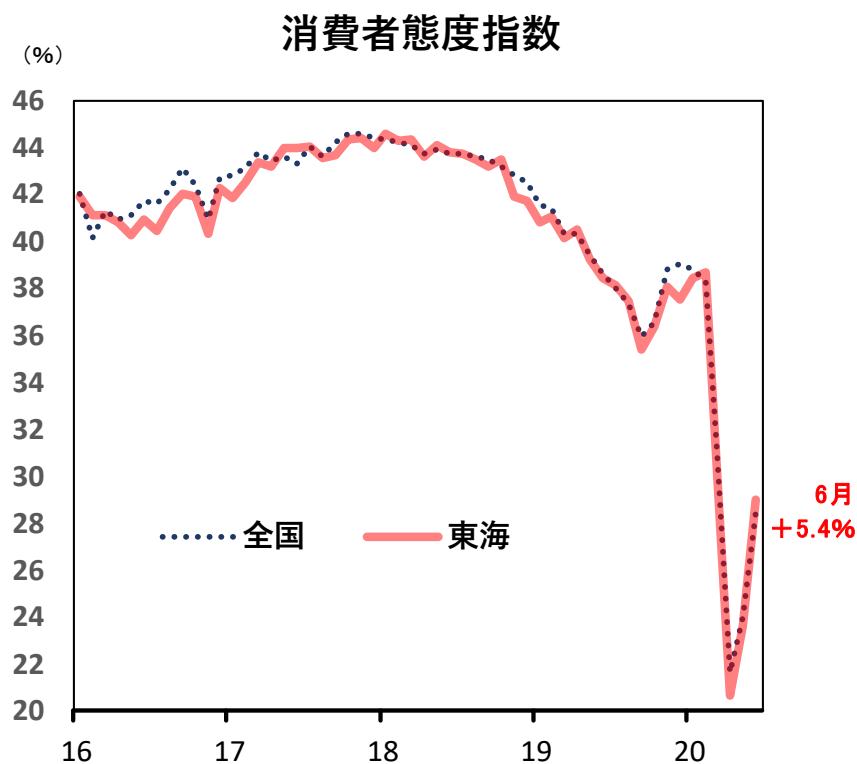
6月の百貨店販売は、前年比-17.5%と大幅減が続くが、減少幅は縮小した。



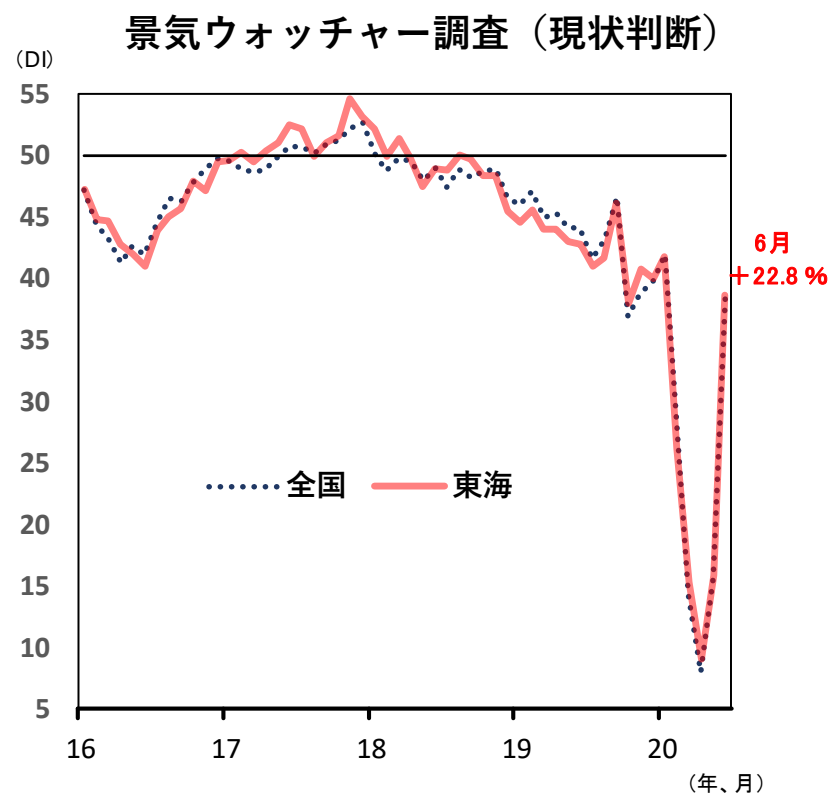
マインド・景況感

6月の消費者態度指数は29.0(前月差+5.4%pt)と、依然低水準ながら、緊急事態宣言の解除後、2ヶ月連続で改善した。

6月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は38.6(同+22.8%pt)と、概ね今年1月の水準まで回復した。先行きについては、感染再拡大への懸念は残るものの改善が見込まれている。



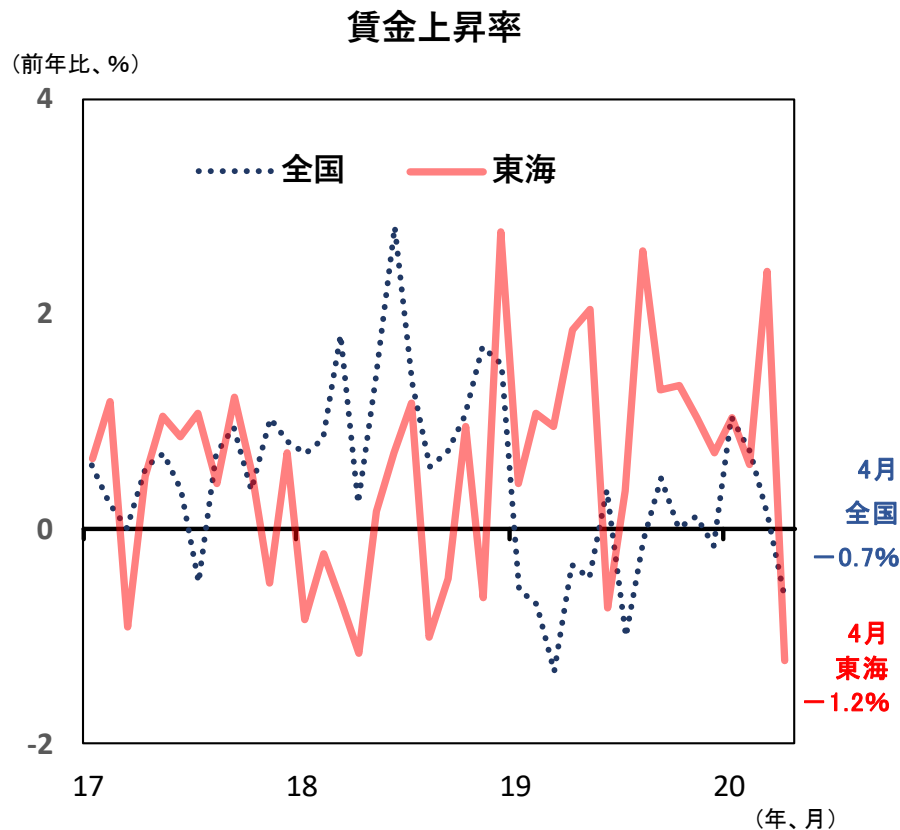
(注) 今後半年間の見通し：当社試算季節調整値
(出所) 内閣府「消費動向調査」



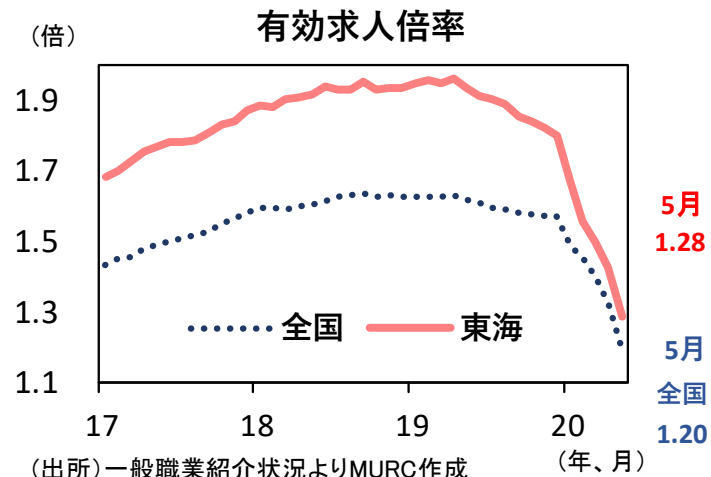
(出所) 内閣府「景気ウォッチャー調査」

賃金・雇用

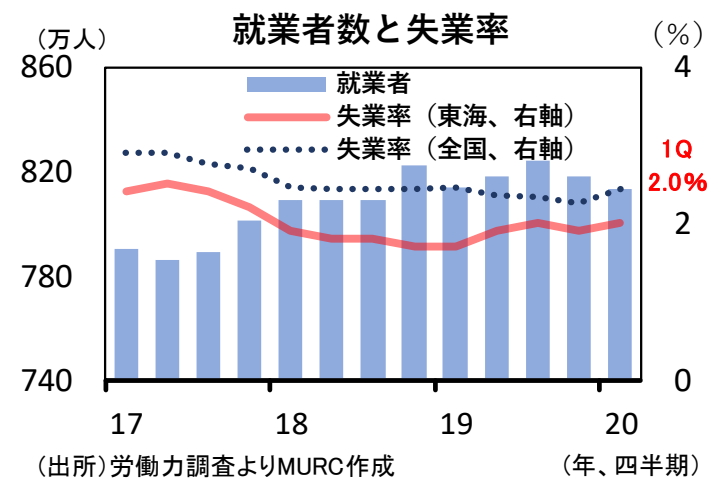
4月の名目賃金指数は、愛知県の製造業を中心に低迷し、前年比-1.2%と10ヶ月ぶりに減少した。また、求人倍率は1倍越えながら低下基調。



(出所) 名目賃金指数 (所定内給与)、愛知、三重、岐阜の常用雇用者指数よりMURC作成



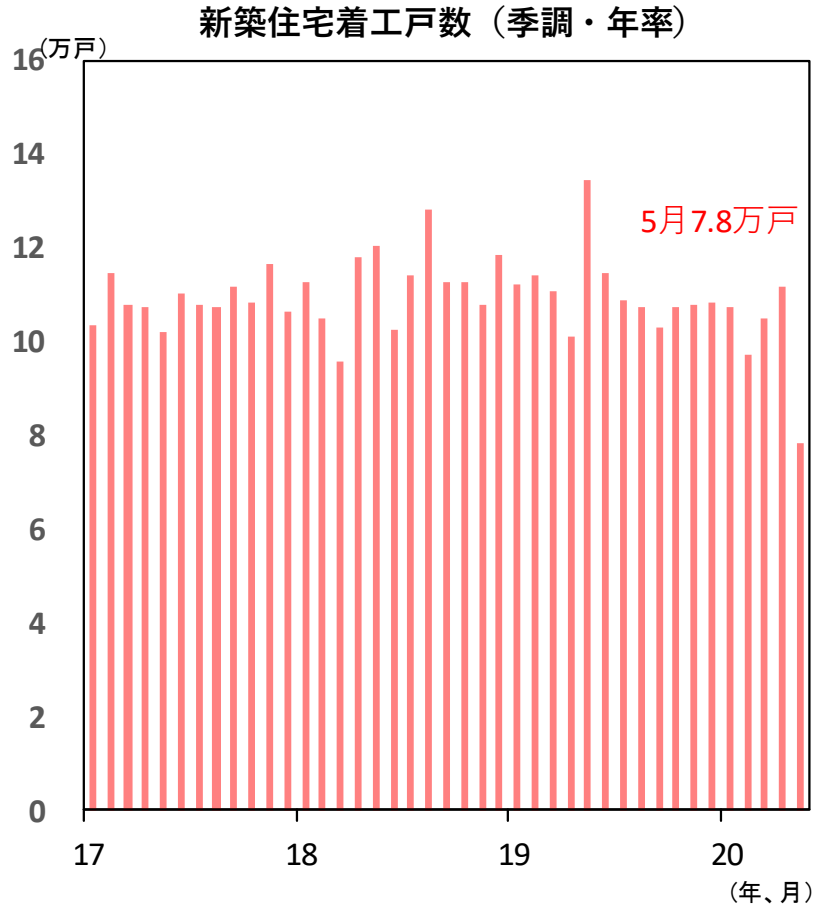
(出所) 一般職業紹介状況よりMURC作成



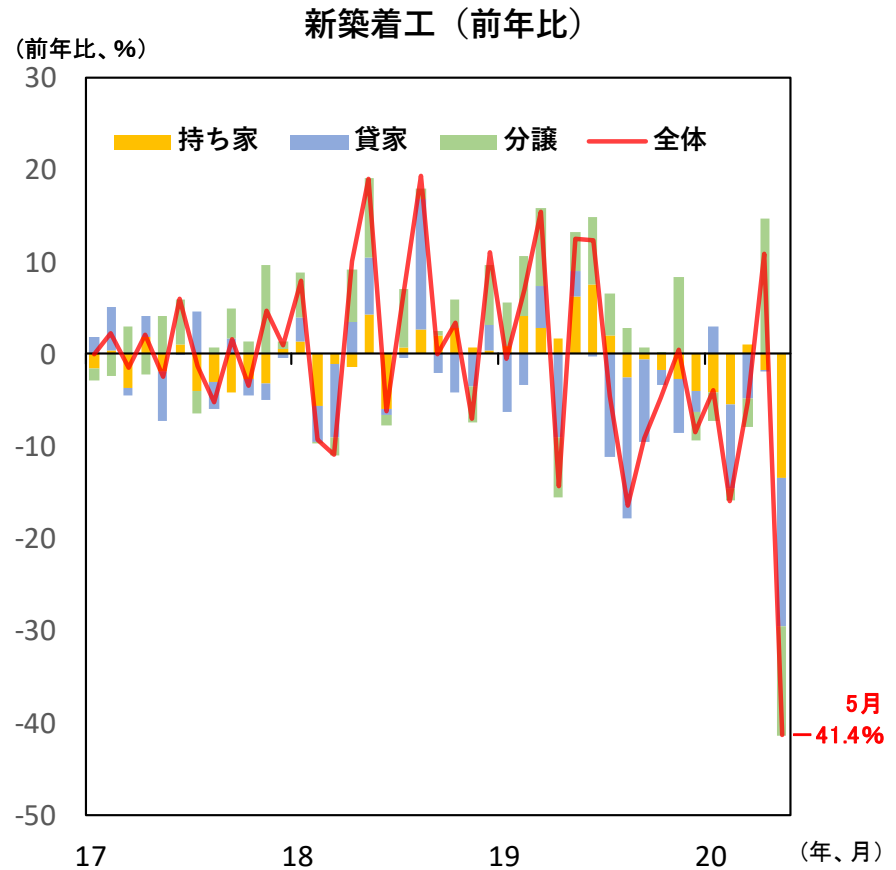
(出所) 労働力調査よりMURC作成

住宅投資

5月の住宅着工は季調・年率で7.8万戸と大幅減。原数値では前年比-41.4%。持家、貸家、分譲いずれも大幅減となった。



(出所) 建築着工統計よりMURC作成

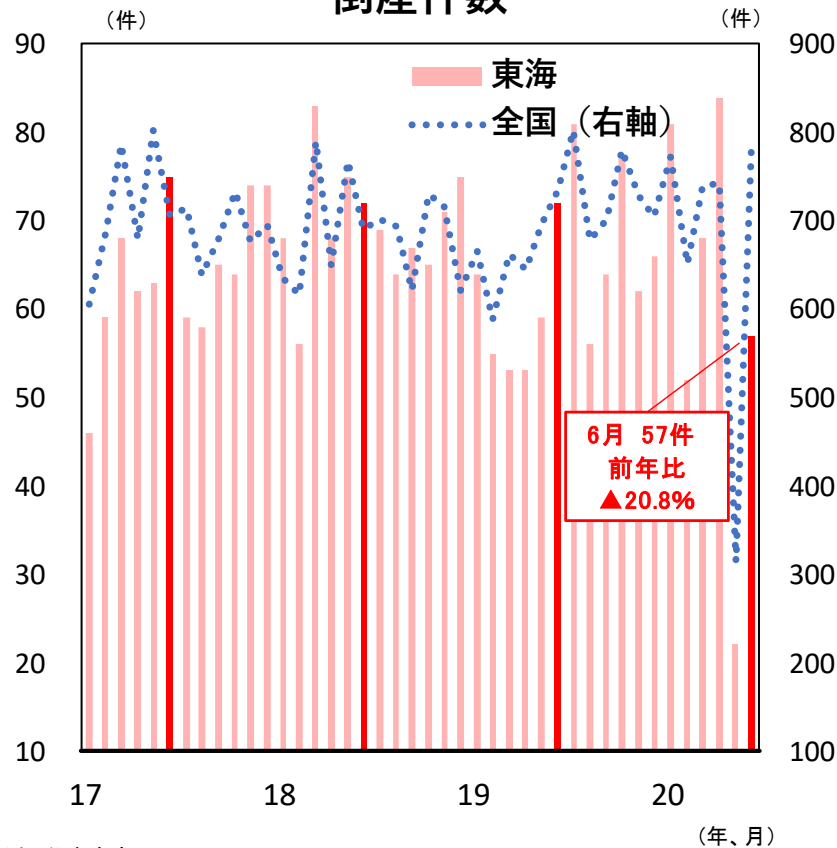


(注) 愛知、三重、岐阜、静岡の合計(出所)「建築着工統計」

倒産

コロナ下での裁判所業務縮小で5月に大幅減となった倒産件数は、6月も前年を下回る水準にある。

倒産件数

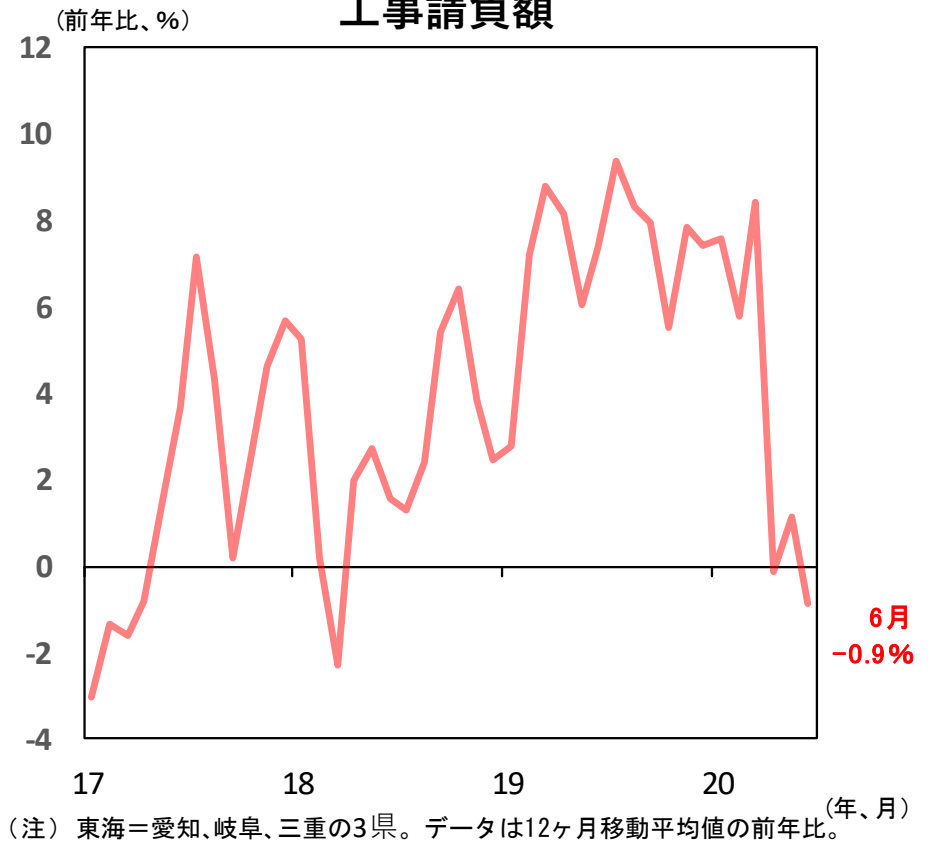


(出所)東京商工リサーチ

公共投資

公共投資は横ばい圏で推移している。

工事請負額



(注) 東海=愛知、岐阜、三重の3県。データは12ヶ月移動平均値の前年比。

(出所) 保証事業会社協会、北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)「公共工事前払金保証統計」

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 TEL:03-6733-1070 E-mail:chosa-report@murc.jp

〒108-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください